

吹田市の医療に関する状況と 市の取組について

平成29年度吹田市地域医療推進市民シンポジウム

平成30年(2018年)2月3日(土)

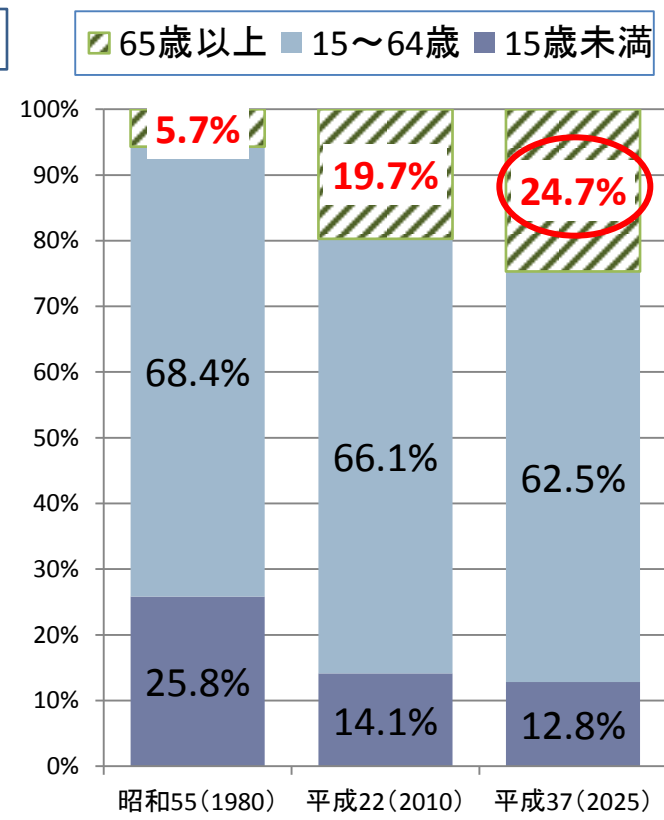
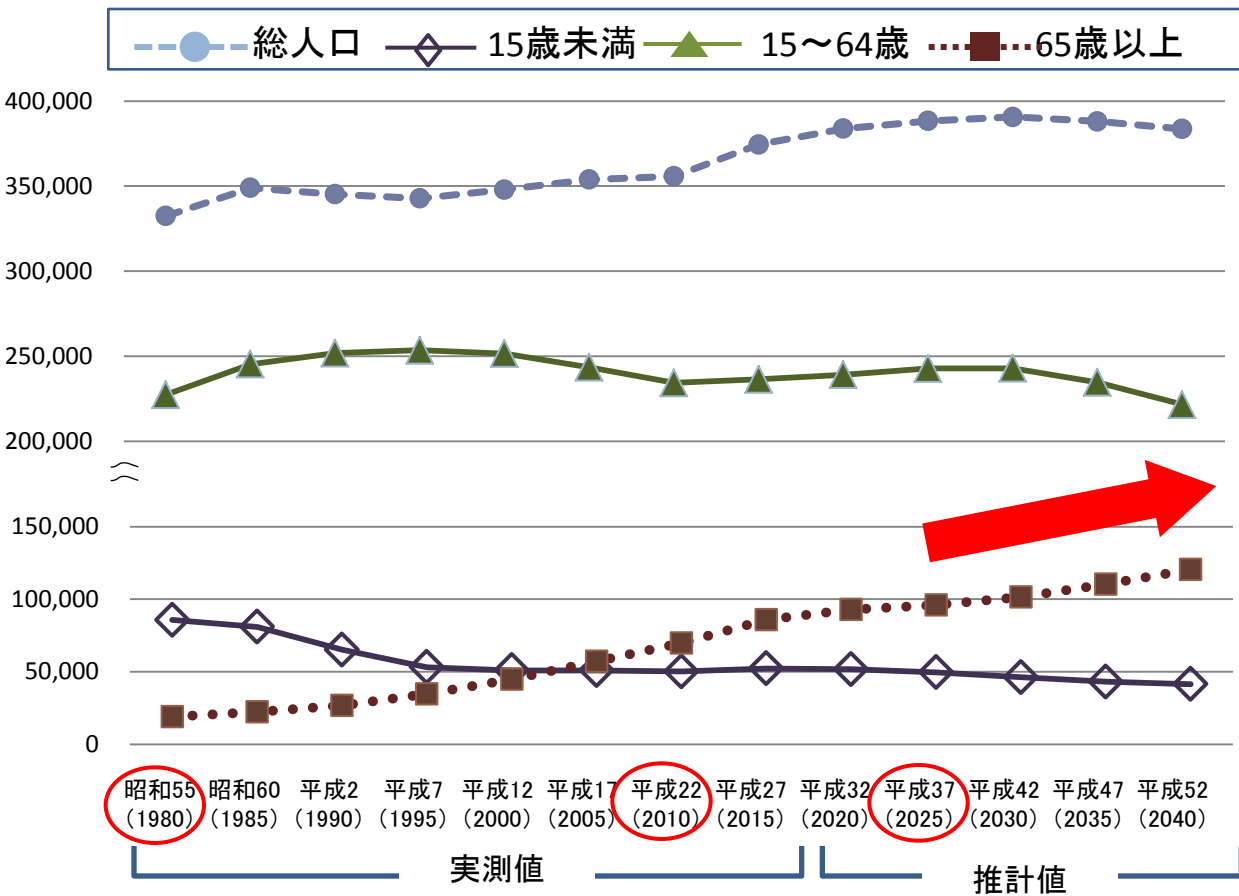
吹田市健康医療部地域医療推進室

本日の内容

- 1 吹田市の医療に関する状況
 - (1) 吹田市の人口の動向
 - (2) 医療機関の機能について
 - (3) 在宅医療について
 - (4) かかりつけ医について
- 2 吹田市の取組

吹田市の人口は今後どうなる？

- 当面、人口増加が続き、2030年をピークに減少が始まると見込まれている。
- 2000年以降、本市の生産年齢人口(15～64歳)は減少しはじめている。
- **2025年には老年人口(65歳以上)が約25%を占めることになる。**



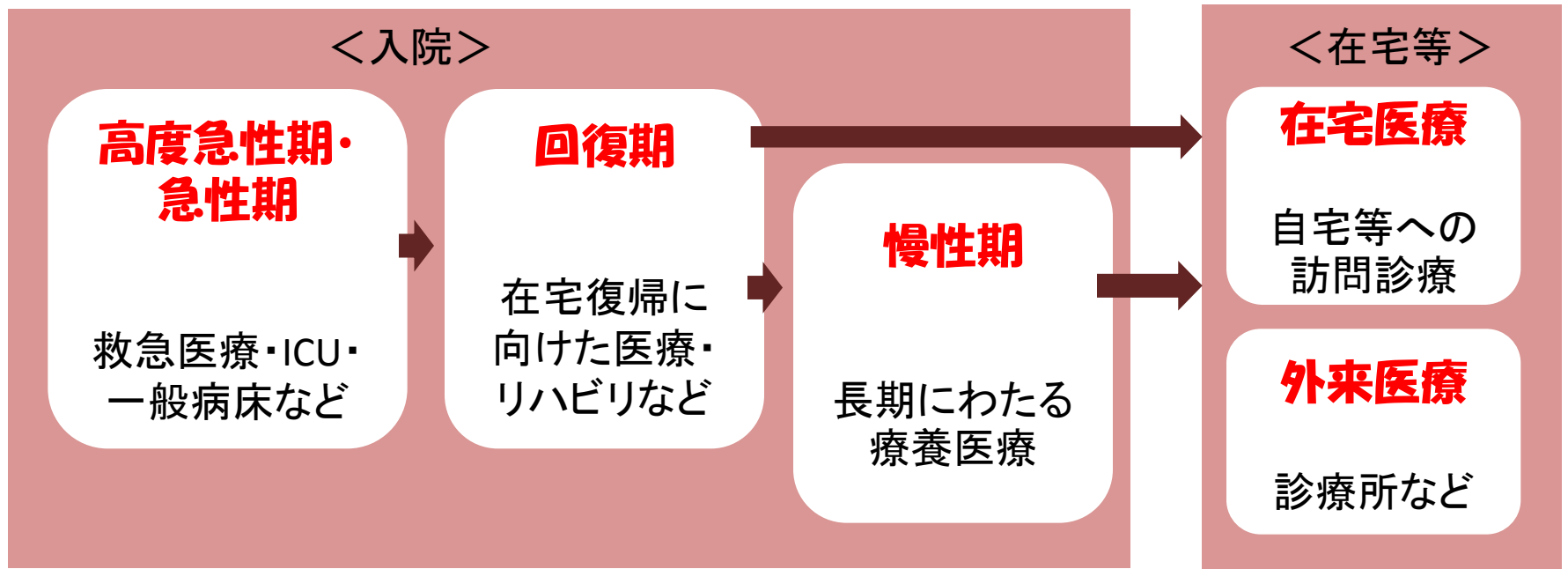
年齢3区分別人口の推移

年齢3区分別人口の割合の推移

推計値は、吹田市第4次総合計画策定に係る人口推計について(案) (平成30年1月25日時点) より

医療機関にはそれぞれ役割があります

治療経過ごとの医療機能のイメージ

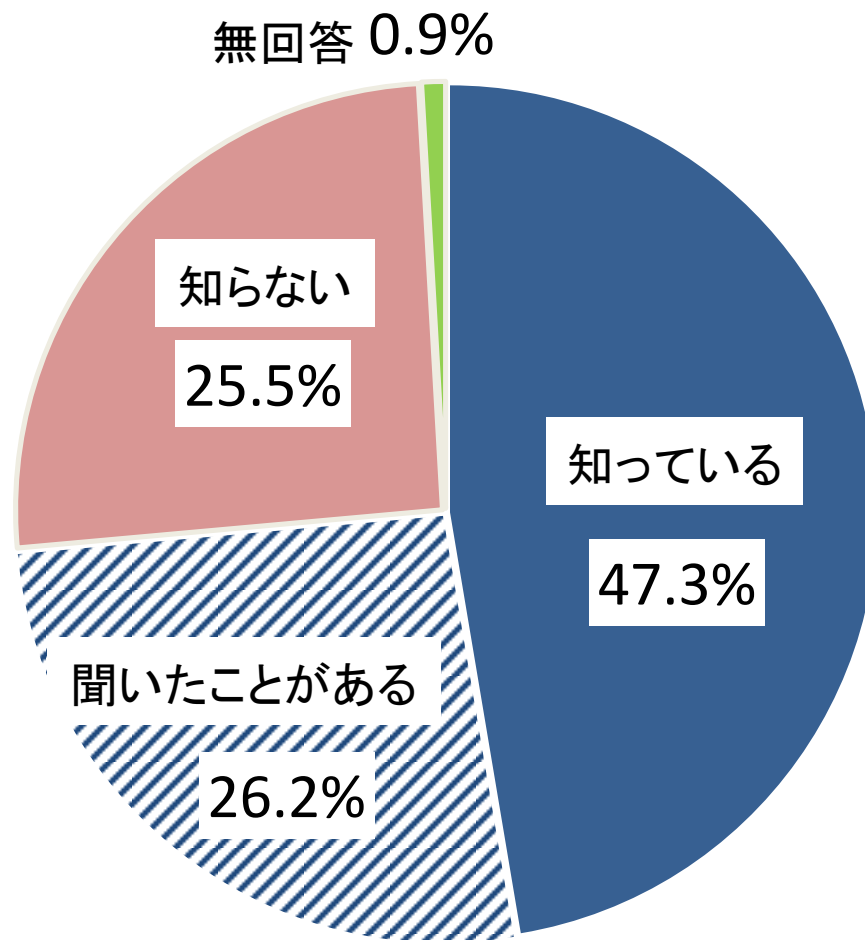


「地域完結型」の医療

吹田市にはどんな機能の病院があるのか

高度急性期	急性期	回復期	慢性期
国立循環器病研究センター			
大阪大学医学部附属病院			
	済生会吹田病院		
	済生会千里病院		
	市立吹田市民病院		
	吹田徳洲会病院		
	協和会病院		
	井上病院		
	大阪市立弘済院附属病院		
	大和病院		大和病院
			皇月病院
			甲聖会記念病院
			平海病院

医療機関の役割分担について知っていますか？

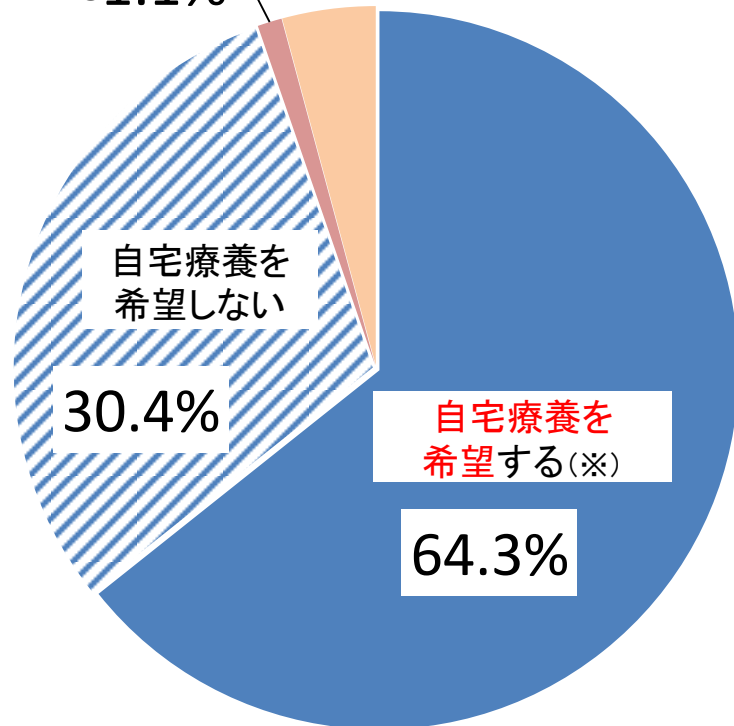


医療機関の役割分担の認知度

在宅医療はどうか？

- 2025年に**在宅医療は1.7倍必要**になる
- 在宅療養を希望する**と答えた方は**約65%**

現在、在宅療養
をしている1.1%



(※)「在宅療養を希望し、実現可能である」と「在宅療養を希望するが、実現は難しい」の合算

在宅医療等の必要量	
平成25年 (2013年)	平成37年 (2025年)
3,599	6,141



1.7倍

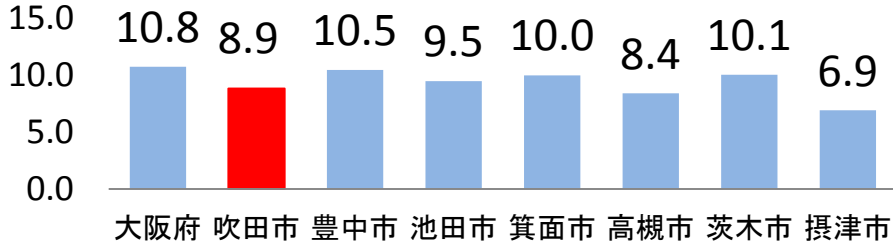
大阪府地域医療構想における
吹田市の在宅医療等の医療需要より

在宅療養の希望および実現の可能性

「平成28年度 医療に関する市民アンケート調査」より

在宅医療を実施している診療所等の状況は？

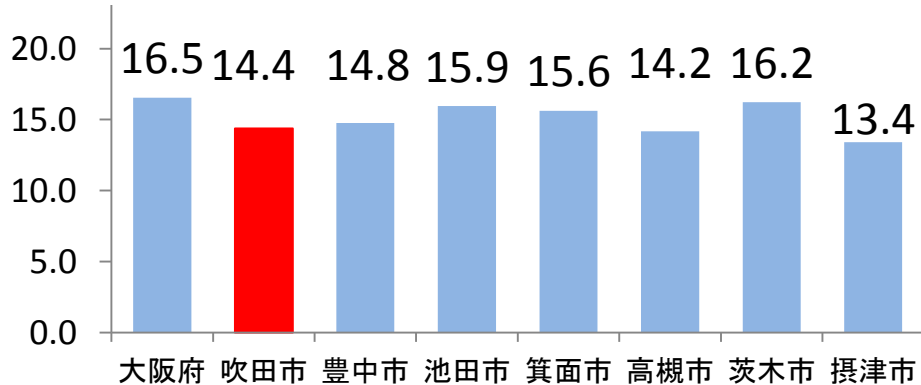
(件)



65歳以上人口1万人あたりの
在宅訪問診療実施診療所の件数

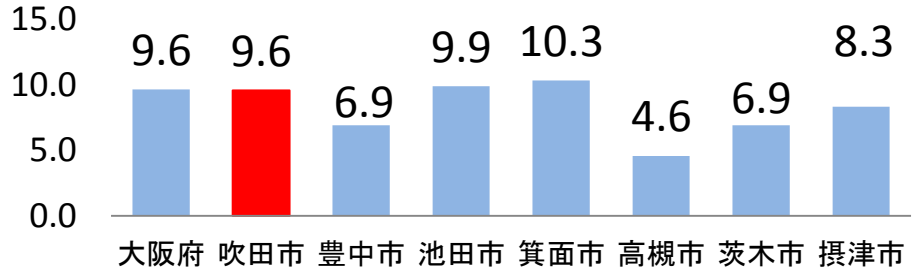
病院が多いから？
診療所1件あたりの訪問診療件数が多い？

(件)



65歳以上人口1万人あたりの在宅患者
訪問薬剤管理指導料届出薬局の件数

(件)



65歳以上人口1万人あたりの
歯科訪問診療実施歯科診療所の件数

在宅医療の提供体制を整えることが必要。
しかし、24時間・365日の在宅医療の提供体制や、病院での受入れも含めた急変時の対応、訪問看護の体制整備等の課題も大きい。

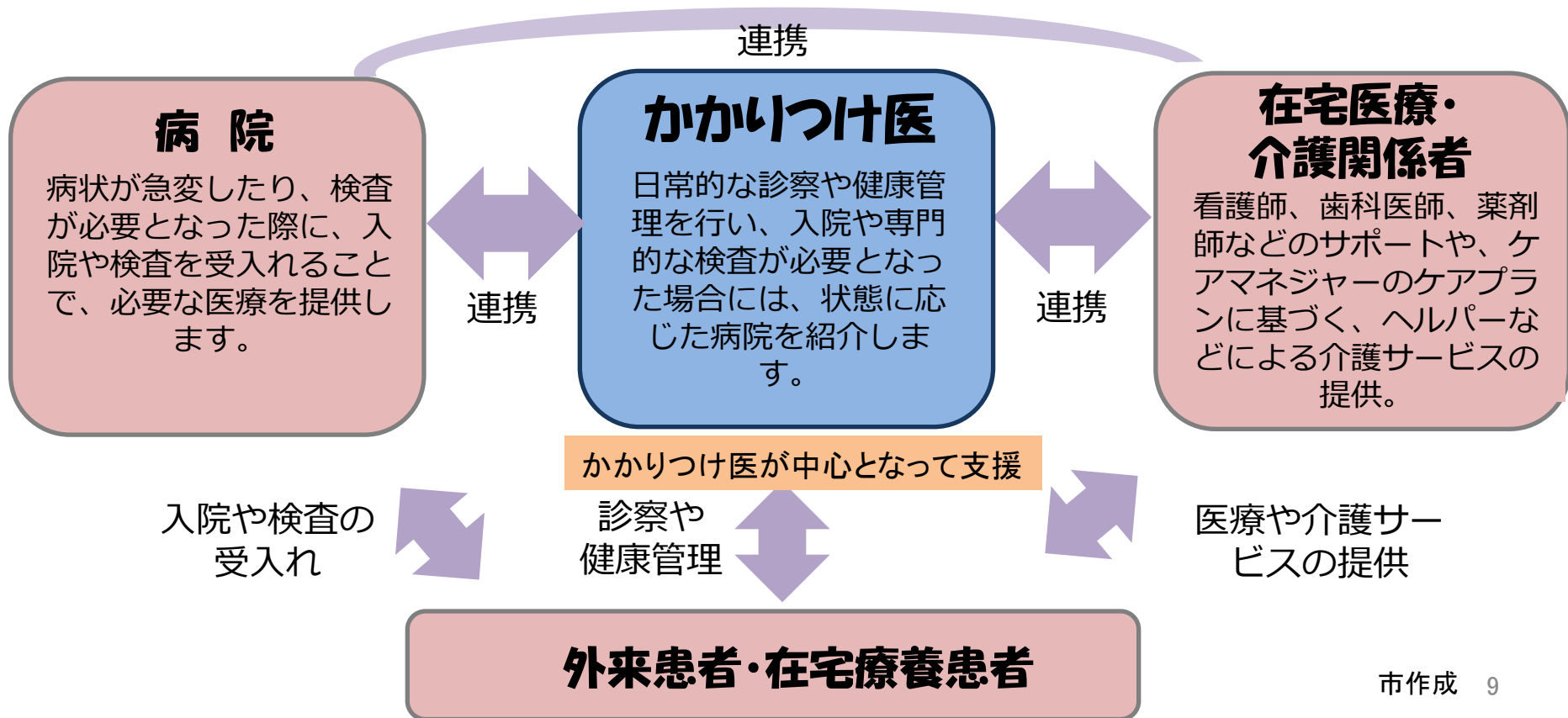
在宅訪問診療実施診療所数及び歯科訪問診療実施歯科診療所数：
大阪府医療機関情報システムより(平成30年1月31日現在)
訪問薬剤管理指導料届出薬局件数：近畿厚生局 施設基準の届出状況より(平成30年1月1日現在)

かかりつけ医とは

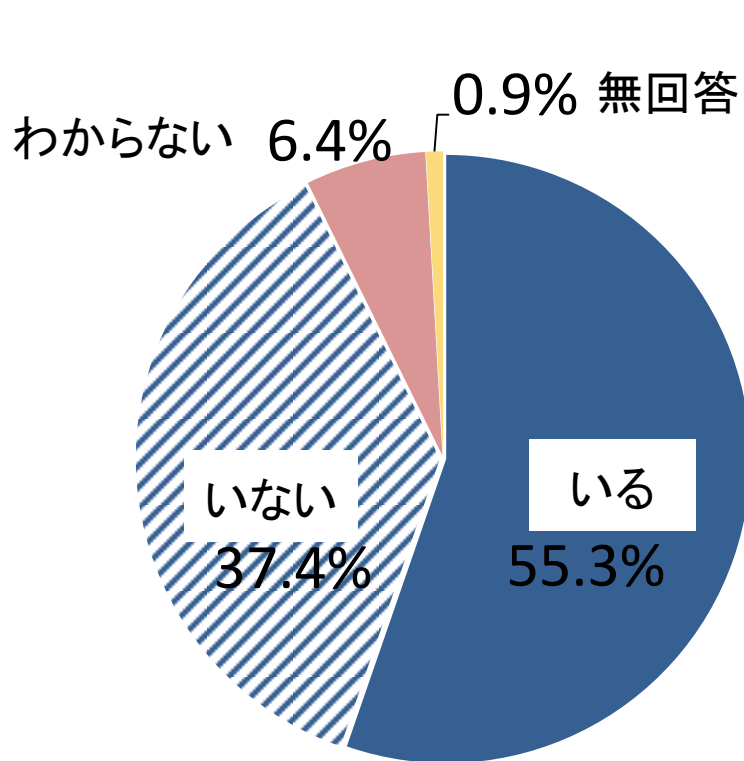
かかりつけ医とは

なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師

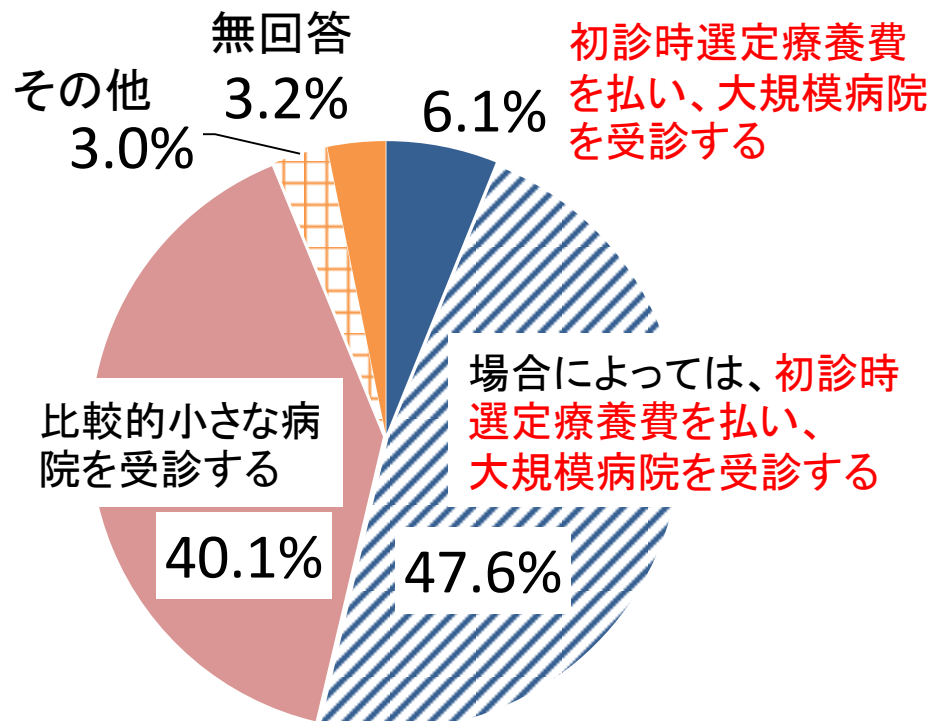
日本医師会・四病院団体協議会「医療提供体制のあり方」より



かかりつけ医はいますか？



かかりつけ医の有無

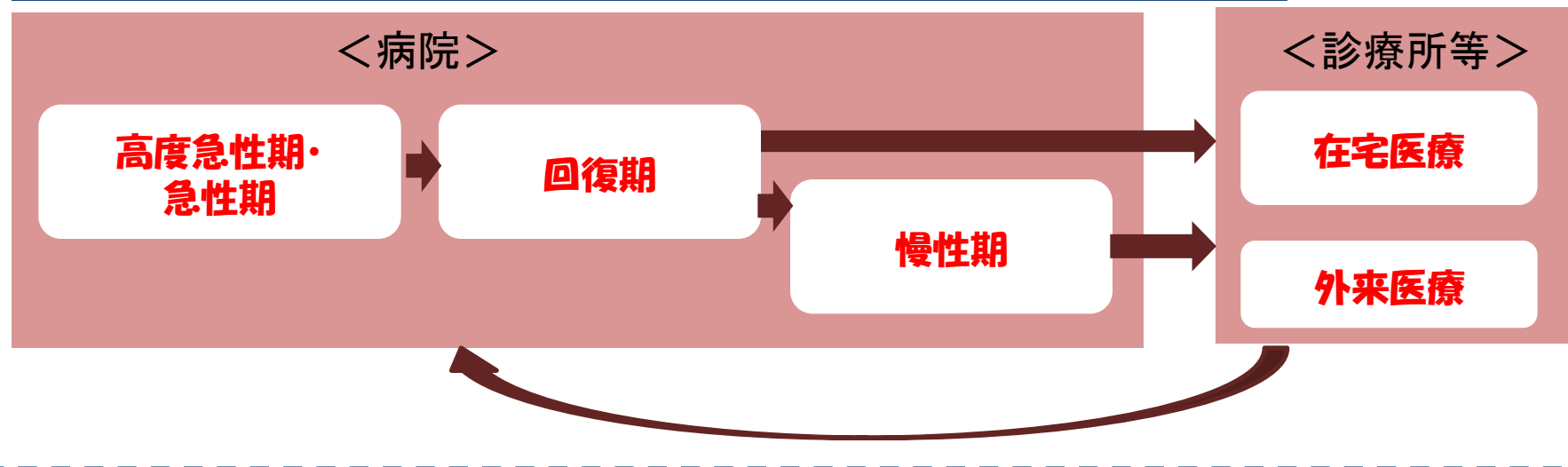


初診時選定療養費(※)をふまえて
病気になった時の行動

(※) 紹介状なしで大規模病院を受診した場合に、
通常の医療費とは別に必要な費用(救急搬送等除く)

吹田市の取組 地域全体で治し支える医療へ

医療機関同士の密な連携により、地域全体で治し支える医療へ



吹田市医師会、歯科医師会、薬剤師会、市内病院、
訪問看護事業所等と一緒に具体的対策を検討

- 地域の医療機関の機能分化と連携の強化（病院同士・病院と診療所など）
- 医療機関の機能を理解した受診行動、かかりつけ医の定着促進
- 24時間・365日の在宅医療の提供体制の整備、急変時の対応
- 在宅療養・在宅医療についての市民への情報提供 など